

ばわわ 18号

ばわわとは？

ばわ 天白を元気にする力(パワー)
わ 地域をつなげる輪(わ)と和める(わ)たまり場づくり
 そんな思いがひとつになって
ばわわと名づけました!

発行 社会福祉法人名古屋天白区社会福祉協議会
 情報紙「ばわわ」プロジェクト
 〒468-0015 名古屋市天白区原一丁目301
 原ターミナルビル3階
 TEL:052-809-5550 FAX:052-809-5551
 E-mail:tenpakuVC@nagoya-shakyo.or.jp
 http://www.tenpaku-shakyo.com
 編集 株式会社 リベルタ
 〒468-0011 名古屋市天白区平針2-1111 A2ビル207号
 TEL:052-808-0429 FAX:052-808-0421
 E-mail:libertad@mbp.nifty.com

情報紙「ばわわ」へのご意見、ご感想も
 はがき・FAX・メールにて受け付けています。

視覚障がいその他の理由で活字のまま読むことの困難な人のために、営利を目的とする場合を除き「録音図書」「点字図書」「拡大図書」等の製作をすることを認めます。



空気のすがすがしい秋。
 あなたは何をして楽しめますか？
 今回は趣味に、収穫に、食欲に
 色とりどりの天白の秋を紹介します。



いきいきと 高齢者が活動する 天白福祉会館

60歳以上の人なら簡単な手続きのみで、誰でも無料で利用できる福祉会館。その取り組みの一つである「趣味講座」と「わくわく通所事業」をご紹介します。

各区に1館ずつ設置されている福祉会館は、様々な趣味講座などを通して心と体の健康づくりを応援しています。天白福祉会館では、約15もの趣味講座が開催されています。取材に伺った「民謡講座」には、約25の方が参加されていました。今年度から始めた方と10年以上参加している方が一緒に活動されていましたが、「先輩たちがよくしてくださる」、「みんなで練習するから楽しくできる」と、みなさんととても仲良しです。民謡講座は女性を中心ですが、囲碁室や将棋室の利用は圧倒的に男性が多く、みなさん真剣に、そして和気あいあいと盤を囲んでいました。

仲間同士のふれあいでいつまでも元気に

福祉会館では、「わくわく通所事業(わくわくクラブ)」（65歳以上の特定高齢者のみ参加可）も

行っています。介護予防が必要な高齢者を対象に、レクリエーションを通じての仲間づくりや社会参加を目的としています。健康体操や、粘土細工などの手工芸に挑戦したり、ときにはバスハイクや地域の子どもたちとふれあう時間もあったりするそうです。部屋の外まで笑い声が聞こえる楽しそうな室内におじゃますると、顔の体操ということで「ニラメッコ」の最中。いつまでも笑い声の絶えないパワフルなみなさんでした。

地域のコミュニケーションの場として

福祉会館には、談話室や浴室の設備もあります。どちらも登録をしている人なら無料で利用することができます。講座や「わくわくクラブ」がない日でも仲間同士のコミュニケーションの場の一つとして、利用者は確実に増えているそうです。最後に館長の小田さんが、「『楽しく、仲よく、元気よく。そして気持ちよく』がモットーなのです」と教えてくれました。会館を訪れるみなさんの笑顔がそれを証明しています。

.....お知らせ.....

■発表会(開館30周年記念)
 稽古の成果を披露します。
 <民謡> 10月20日(月) 午前10時30分~午後2時45分
 <民謡> 10月28日(火) 午前10時~午後3時
 <茶会> 10月30日(木) 午後1時~午後3時30分(呈茶券200円)
 11月27日(木) 28日(金)には、絵手紙や書道などの作品展も開催。

■わくわくクラブ一日体験会
 わくわくクラブの利用者と一緒に、体操、工作、レクリエーションなどを行いますか？
 対象:65歳以上の介護予防が必要な方(介護保険制度の要支援・要介護認定を受けた方を除きます)
 実施日時:11月10日(月)、11日(火)、13日(木)、18日(火)、20日(木) いずれも午前10時~午後3時。
 実施場所:天白福祉会館 参加費:無料
 申込期限:10月29日(水)
 問合せ先:天白福祉会館 TEL:802-2351 FAX:806-3327



川のおこうにある白い塔は天白区役所の敷地に建っています。何をするためのものでしょうか。答えはP.3です。



はじめて見たよ 野菜ってこんなふうにつつんだ! 【名古屋市立山根小学校】



指導員の方の説明を熱心に聞く子どもたち

収穫するといった一連の作業を通して、「ニンジンが食べられるようになった」、「植物のおかげで生きているんだ」という感想を持った子どもたちがたくさんいたそうです。子どもたちは、栽培体験を通して教室の中の授業では得られない様々なことを学んでいます。



昨年度収穫したニンジン。葉付きのニンジンには子どもたちもびっくり

相山緑地の程近いところにある山根小学校では、総合学習の一環として農作物の栽培体験を行っています。数年前に「農のある町づくり」でモデル校に選ばれたのをきっかけに、いろいろな野菜や果物を栽培してきました。「畑を無料で貸して下さる近隣の農園主さんのご厚意と、農業指導をして下さる『名古屋市みどりの協会』のご支援なくしてこの取り組みは成り立ちません」と、学校は地域の方々に感謝しています。

今年度は、4年生が栽培体験に挑戦。1年を前期と後期に分け、前期は夏休み前の収穫を、後期は冬休み前の収穫を目指します。除草や鳥の被害から守るネット張りなど農園主さんに手伝っていただくことも多いですが、水やりや収穫などは当番を決めて自分たちで行います。この夏には、数え切れないくらいのキュウリと、粒の揃ったトウモロコシ、そしてプリンスメロンを収穫しました。夏の日差しを浴びてグングン育つトウモロコシを見て、「私よりも先生よりも大きくなった!」と、実物を目にして子どもたちはとても驚きます。

9月からは、ニンジンやハクサイ、ダイコンの苗を植えて育てます。昨年の収穫時は、少し形がいびつなニンジンができて、「三つ足、四つ足のニンジンができた〜」と、かえって子どもたちには人気があったとか。自分たちで苗を植え栽培し、

おすすめ スポット

自家野菜の安心イタリアン クチーナ



生ハムと自家製ルーコラのピッツァ 1,575円

「作った人の顔が見える。それが一番安心な食べ物です」。まじめな料理作りが評判を呼ぶ、イタリア家庭料理店「クチーナ」。調理に使う野菜やハーブを、自家菜園で栽培しているお店です。「野菜作りにはできる限り、農薬や化学肥料を使いません。手間はかかりますが、安心でおいしい野菜が取れるんです」と、オーナーシェフの藤井真人さん。ナスやイタリアントマト、モロッコインゲンといった野菜のほか、セージやタイムなどのハーブと、どれも濃厚な味わいが魅力です。年配のお客様からは「昔の野菜の味がする」と、お褒めの言葉をいただくこともあります。藤井さんは、イタリア料理界の鬼才と言われる小林幸司氏のもとで修業を積みました。「その日に取れた食材の魅力を、最大限に生かす。そんな小林先生の料理哲学に、目からうろこが落ちる思いでした」。その教え通り、藤井さんの作る料理はどれもシンプルな味付けが身上。オリーブオイルが素材の持ち味を引き出し、力強いおいしさを満喫することができます。「その季節に一番合った、旬の味覚を大切にしています。ご来店の際は黑板メニューをご覧ください」。パスタ・ピッツァ共に1,050円〜、ランチ1,470円〜、コース料理は3,700円〜。和牛ホホ肉の赤ワイン煮込み(2,700円前後)など。肉料理だけでなく、魚料理も豊富にそろっています。



落ち着いた雰囲気できつろげる店内

住 所:天白区山郷町59脇田ビル1F **TEL:**807-8905
営業時間:午前11時~午後2時、午後5時30分~10時
(ラストオーダー午後9時)
定 休 日:月曜日、第3火曜日



サロンの訪問

子育てサロン ひばりっこ 悩み解消が子育ての第一歩



ママさん同士の交流の場として多くの会話が弾む子育てサロン

「ひばりっこ」は、山根学区に住んでいるママさんが集まる子育てサロン。月に2回行われ、第2木曜日は一つ山第2集会所、第4火曜日は山根コミュニティセンターが会場になっています。少子化が叫ばれている昨今ですが、この地域は子どもが多いことが特徴。7か月から2歳ほどの子どもと親が、毎回約15組ほど集まります。会場に一步入れば、笑い声と泣き声(?)で、実に賑やか。子どもの遊び場としてはもちろん、ママさん同士の交流の場として喜ばれています。「第2木曜日は自由な遊びの場ですが、第4火曜日の後半は、育児をみんなで話し合う場をしています」と、主任児童委員の中川さんと田口さん。例えば夏なら、クーラーを使う頻度やあせも対策、水遊びの回数など...。その場でテーマを決めて、車座になって話し合います。保育ボラン

ティアの梶裕子さんは「最初の子育ては、誰もが不安なもの。同じ年頃の子どもを持つママさん同士が、話しをして安心することで、当たり前な子育ての第一歩を踏み出せるんです」と言います。田口さんも「これからも、ママさんたちが気軽に集まれる場でありたいですね」と、にっこり。リラククス体操やクリスマス会、歯みがき指導なども行っています。

開催日時と場所:
第2木曜日(一つ山第2集会所)、
第4火曜日(山根コミュニティセンター)
どちらの曜日も午前10時~11時30分
会 費:なし
持ち物:着替え、飲み物
連絡先:山根民生委員児童委員協議会主任児童委員
中川礼子(803-3744)
田口ますみ(801-1022)
主 催:山根学区地域福祉推進協議会



「顔合わせ交流会」開催!



「顔合わせ交流会」での絵当てゲームの様子

「ふれ愛ネット天白」のふれあい部会では、「顔合わせ交流会」を7月5日(土)に開催しました。

当日は、障がいのある方を含めて23名に参加していただき、グループに分かれて3種類のゲームを行いました。まず、自己紹介を行い、グループ名を考えた後、絵当てゲーム、ペットボトルを使ったボール送りゲームや風船運びゲームを行い、総得点数で順位を決めました。賞品(お菓子)が用意されているということで、どのゲームも白熱した展開となり、大盛り上がり。その後、ティータイムを設けて各グループが和やかに歓談し、最後は表彰式を行いました。参加者からは、「楽しかった!また参加したい!!」との嬉しい感想をいただきました。

今後も「誰もが安心して暮らすことのできる天白区」を目指して活動していきますので、参加ご希望の団体・個人の方は、お気軽にご連絡ください。一緒に活動しましょう。次回は、秋に「やみなべ交流会」の実施を予定しています。

「第24回福祉区民のつどい」

日時: 10月26日(日) **開催!!**
午前10時~午後3時
(小雨決行)

※天白区民まつりと同時開催

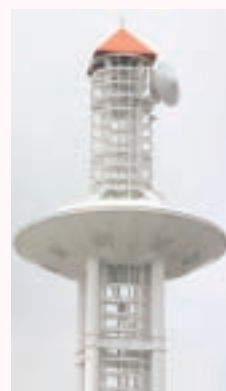
場所: 天白公園及び天白生涯学習センター
内容: 福祉体験・ゲームコーナー・福祉広場ステージでの演奏・授産製品の販売・模擬店・フリーマーケットなど。

答え

【名古屋市の防災行政無線の鉄塔】

これはなに?

答えは名古屋市の防災行政無線の鉄塔です。平成2年に設置され、高さは58メートル。名城大学~東山スカイタワー経由で、名古屋市東庁舎と通信します。地震や台風など災害時に、市民生活を守る重要な役割を果たしています。



問合せ先

「ふれ愛ネット天白」事務局
(天白区社会福祉協議会内)
TEL:809-5550

この指とまれ! ボランティア・イベント情報

ボ ボランティア イベント

ボ 「天白さんぽ大作戦」外付け添いボランティア募集

天白区社会福祉協議会が区内の多数の福祉施設等との共同により、「外付け添いボランティア(さんぽサポーター)」を一齐募集いたします。秋の空の下、一緒に外出を楽しみませんか? 事前に車いす介助講習会も開催いたします。

- 日時: 10~11月
※参加施設ごとに設定しています。詳しくは問合せいただくか、チラシまたはホームページ(<http://www.tenpaku-shakyo.com>)をご参照の上、ご都合・ご希望に応じてお申込みください。
- 参加費: 無料(ただし、交通費や昼食代等は参加者負担となる場合があります)
- 申込・問合せ先: 天白区社会福祉協議会 担当/濱田(はまだ) TEL:809-5550 FAX:809-5551
- チラシの請求方法: 天白区社会福祉協議会あて、電話もしくはメール(tenpakuVC@nagoya-shakyo.or.jp)にてお申込みください。

車いす体験講習会(社協まで事前にお申込ください)
日時①: 9月18日(木) 午後4時~5時30分
日時②: 9月23日(火・祝日) 午前10時~11時30分
場所: 天白スポーツセンター・第2競技場にて
内容: 車いす操作法の説明
体験実習(館内での実習→館外での実習)
持ち物: 上くつ(館内用)
動きやすい格好でお越しください。



ボ 「福祉区民のつどい」ボランティア募集

天白区民まつりと同時開催する「福祉区民のつどい」を一緒に盛り上げてくださるボランティアさんを募集します。

- 前日準備のボランティア
■日時: 10月25日(土) 午後1時~
■内容: 会場準備など
- 当日のボランティア
■日時: 10月26日(日) 午前9時~午後4時30分頃(午前又は午後のみ活動可)
■内容: 受付、募金活動の手伝い、福祉体験やゲームコーナーの手伝い、障がい者の参加補助など
- 募集対象: 中学生以上・性別不問
- 会場: 天白公園、天白生涯学習センター
- 問合せ先: 天白区社会福祉協議会 担当/兼松 TEL:809-5550 FAX:809-5551



ボ 視覚障がい者ガイドボランティア養成講座受講生募集

あなたの腕を、目を、空いた時間を貸していただけませんか? 視覚障がい者の外出援助を行うガイドボランティアの養成講座受講生を募集しております。

- 日時: 第1回 11月5日(水) 「視覚障がいとは」
第2回 11月12日(水) 「ガイドの方法を学ぼう1~屋内歩行~」
第3回 11月19日(水) 「ガイドの方法を学ぼう2~乗り物に乗って~」
第4回 11月26日(水) 「ボランティア活動について」
いずれも午前10時~正午
- 場所: 天白区社会福祉協議会会議室
- 定員: 10名

- 参加費: 500円(保険・資料代)
※第3回の交通費は実費負担です。
- その他: 筆記用具をお持ちください。動きやすい服装・履物でお越しください。
- 申込方法: 10月31日(金)までに、所定の参加申込書にご記入の上、郵送またはFAX・電話でお申込みください。
- 申込・問合せ先: 天白区社会福祉協議会 担当/濱田(はまだ) 〒468-0015 天白区原1-301 原ターミナルビル3F TEL:809-5550 FAX:809-5551
- 主催: ガイドボランティアグループ「天白わかば」 天白区社会福祉協議会

ボ 星ヶ丘ボウルで一緒にボウリングしませんか?

- 天白区手をつなぐ育成会では、知的障がい児者とその家族と一緒にボウリングを楽しんでいただける方を募集しております。(ボランティアも併せて募集中です)
- 日時: 11月16日(日)午前9時30分~11時30分(予定)
 - 参加費: 500円(2ゲーム・靴代)
 - 申込・問合せ先: TEL/FAX:803-9017(富岡)

ばわわ 子育て日記

No. 18 「どんぐり拾い」してますか?

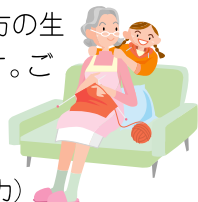
どんぐりの季節が近づいてきました。みなさんは、「どんぐり拾い」してますか? 我が家には、去年のどんぐりがビニール袋いっぱい残っています。「なんであんな物にうちの子は執着するのだろう?」なんて思わないでください。子どもは子どもなりの世界で、どんぐりと一緒に遊んでいるのですから。どんぐりといっても、たくさんの種類があります。こなら、かしわ、しらかし、くぬぎ、すだじい等々。どの木にどんな大きさで、どのような帽子のどんぐりが実るかわかりますか? 私は家や図書館の本で調べたり、天白生涯学習センターの「おもしろ子育てセミナー」で教えていただきました。たとえ近所に登れそうな山がなくても大丈夫。天白公園には山が三つもあり、いろいろな種類のどんぐりの木が生い茂っています(狸もいるよ)。子どもと図鑑片手にのんびりと、どんぐりを探してみたいか? 山の空気は澄んでいて、木漏れ日は気持ちよく、心も癒されます。子どもの新たな可愛さも発見できるかも! 一度親子で「どんぐり散歩」してみませんか?(みとりん)



ばわわ 介護日記

No. 10 「認知症の人の世界を知る(その6) “ご家族にはかないません”」

施設に入所しているFさんは、アルツハイマー型の認知症です。普段、「Fさん」と呼びかけても反応が少なかったのですが、ある日、親しみを込めて「おばあちゃん!」と声をかけてみました。すると、新聞を読んでいたFさんがスッと顔を上げて振り向き、「まあ、よく来たねえ。元気だったあ」と笑顔で返事をしました。そのあまりにも自然な会話と反応の良さにスタッフもびっくり。「私ねえ、最近ねえ、からだの調子良くてねえ…」などと、完全にスタッフをご家族と思って話しています。これはFさんが、大好きなお孫さんと話すことを楽しみにしていた過去の記憶があったからです。「おばあちゃん!」と呼ばれたことでFさんの“楽しい記憶”が呼び起こされたのです。それからはFさんを「おばあちゃん!」と呼ぶようにして、笑顔を引き出すことにしました。施設に入所した後も、認知症の方の介護にはご家族の協力が必要です。なじみの生活や楽しい記憶に触れるきっかけをご家族から教えてもらうことで、認知症の方の生活が豊かになります。ご家族と入居者との楽しい思い出話お待ちしています。(モカ)



ば・わ・わ・ひ・ろ・ぼ

天白の井戸端 今回のお題「秋」

たくさんのご応募ありがとうございました! 今回、その中から選りすぐりの7点を選ばせていただきました。

- 読書して心ほのかに和む夜 (宮田ゆり子さん)
- 芒の穂風にほんのり頬を撫で (井上さん)
- 収穫につかれわすれて秋はゆく (守之助さん)
- かげぼうし子供と一緒に遊んでる (益子さん)
- 何もかも旨しましよ秋が好き (シゲノマサコさん)
- ぎんなんの落葉ふみしめ寺参り (三輪昭江さん)
- 秋うらら生きる糧とし庭手入れ (磯部登代子さん)

次回のお題「冬」 締切:11月4日(火) 皆さんからの投稿をお待ちしています!

編集後記

前号の「自閉症児童付添ボランティア募集」にご連絡いただいた方からお話を伺いました。「子どもが幼稚園へ通うようになって時間ができたこと、子を持つ親としてボランティアに関わっていただけらと思、連絡しました。初めてなので不安もありますが、無理をせず自分のペースでできることをしていきたいです。」ボランティアを始めるきっかけとして、皆様も情報紙「ばわわ」をご活用ください。

問合せ先 社会福祉法人 名古屋市天白区社会福祉協議会 情報紙「ばわわ」担当 〒468-0015 名古屋市天白区原一丁目301番地 原ターミナルビル3階 TEL:809-5550 FAX:809-5551 E-mail:tenpakuVC@nagoya-shakyo.or.jp

赤い羽根共同募金のお願い

今年も10月1日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が始まります。皆様のご理解とご支援、ご協力をお願いいたします。



赤い羽根協賛 児童生徒作品展のご案内

天白区の小・中学生のみなさまから応募していただいた多くの作品の中から、入賞した作品を展示します。どの作品も力作です。ぜひ、お越しください。
■期間:10月6日(月)~31日(金) 午前9時~午後5時 ※土・日・祝日は除く。最終日は午後4時まで。
■会場:天白区役所 1F市民課ロビー (天白区島田2-201)

協力店の募集

共同募金の期間中、店内・事業所に『ポスターの掲示』や『募金箱の設置』にご協力いただける「赤い羽根協力店」を募集しています。ご協力よろしくお願いいたします。

募金型自動販売機の設置協力店 募集

代金や釣銭の一部が区内の社会福祉活動に寄付される「募金型自動販売機」の設置にご協力いただける店舗・事業所を募集しています。設置に費用はかかりません(電気代のご負担をお願いします)。
■自販機の設置協力企業・法人:(株)伊藤園/サッポロ飲料(株)/NPO法人ハートフル福祉基金
ご協力いただける店舗・事業所は下記までご連絡ください。

連絡先 天白区共同募金委員会 〒468-0015 名古屋市天白区原一丁目301番地 原ターミナルビル3階 天白区社会福祉協議会内 TEL:809-5550 FAX:809-5551 ※赤い羽根共同募金の使いみちなどの情報につきましては、ホームページ(<http://akaihane.or.jp>)をご覧ください。



次の方々より天白区社会福祉協議会にご寄付いただきました。厚くお礼申し上げます。天白区の地域福祉推進に有効に活用させていただきます。(平成20年5月1日から7月31日受付分 受付順)
○本州建設株式会社 様 ○匿名 1件